

議案等 番号	議案等の名称	議員名等	審議 結果	新政クラブ		つるがしま未来		公明党		日本共産党				賛成	反対・賛成せず			
				小川 瀧嶋 正紀 茂	村上 信吉	杉田 恭之	高橋 剣一	出雲敏 太郎	高篠 雅洋	内野 嘉広	大曾根英 明	今野 雄一	小林ひと み			山中 基充	太田 忠芳	小島 幸広
議案第32号	市道の路線の廃止について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	17	0
議案第33号	鶴ヶ島市税条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	17	0
議案第34号	令和6年度鶴ヶ島市一般会計補正予算（第1号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	17	0
請願第1号	鶴ヶ島市内の公立小中学校給食費無償化を求める請願		不採択に決す	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	議長	×	4	13

委員会審査

請願審査

請願第1号 鶴ヶ島市内の公立小中学校給食費無償化を求める請願

【請願者】岡 聖子さん

現在、物価上昇が続ぎ、給食費が保護者の大きな負担になっている。また、様々な事情により家庭での食事が不十分な子どもも少なからずいる。

給食費の無償化と併せて、埼玉県産の食材を中心とすることで、地域の活性化にもつながると考える。

全ての子どもが安心して食事ができるよう、市内小・中学校の給食費無償化を求める。

賛成少数で不採択



詳しい内容はこちら

Point! 市の財政負担

給食材料費の現状(月額)

	小学生	中学生
保護者の負担	4,150円	4,800円
差額約4,300万円を市で負担		
実際の材料費	4,600円	5,350円

もし無償化すると…

現在の保護者負担分
約2億5,000万円の負担増。
現在市で、負担している金額も合わせると、約3億円の負担。

国で実施すべき!

子育て支援を!

Q 給食費の市の負担額は。

A 令和6年度予算において、保護者の負担額を据え置くために、物価高騰分の4300万円程度負担している。

Q 給食費を無償化した場合の市の負担額は。

A 現在、市で負担している物価高騰分と合わせると、3億円程度となる。

Q 低所得世帯などへ支援は。

A 生活保護による教育扶助や就学援助制度による援助を行っている。4年度は金額において、生活保護で0・8%、就学援助制度で14・7%支援した。

Q 給食費よりも優先すべき子ども関連予算は。

A 教育環境の充実や向上と考える。具体的には、学校施設の整備、ICT化の推進、スクールカウンセラーや学習支援員などの教育を支えるスタッフの配置などを行っている。

Q 学校給食費無償化について国に対しての市のアクションは。

A 地元選出の国会議員を通じて、国費による学校給食費無償化の実施に関する要望書を提出している。

賛成

子育て世帯への支援は待ったなしであり、国の動きが鈍い中、自治体が率先して取り組まざるを得ない状況にある。物価高騰などで、経済的に大変な子育てをしている方が多い。どうして坂戸市でできて、本市でできないのか。

子どもは社会の宝であるにもかかわらず、経済的負担が子育て世帯の生活を直撃している。子どもにやさしいまちとして、市外にもアピールするチャンスである。

給食費無償化に係る費用のみではなく、複合的な効果を考えたい。

反対

生活保護世帯など全体の約15・5%にあたる世帯で給食費が課されていない。また、保護者の経済的負担軽減のため、物価高騰分を市で負担している。

まずは、国が実施すべきと市や議会が働きかけていくことが重要である。議論が深まっていない中で、直ちに、市費で実施するのは時期尚早と考える。

財源を捻出するためには、教育施策や給食の質の低下など、新たな問題の発生が考えられる。市では、国に対して学校給食費の国庫負担を要望している。